

■ 自然主義文学の先駆者

小杉 天外

こすぎ てんがい

出身地 美郷町（旧六郷町）

1865年（慶応元年）～1952年（昭和27年）

小説『改良若旦那』など風刺的な作品を発表。ゾラに心酔して客観的写実主義へ転換。『初すがた』『はやり唄』などで自然主義文学の先駆者となる。その後、通俗小説、家庭小説の分野でも活躍。芸術院会員。



年譜

- 1865年 美郷町（旧六郷町）に生まれる。本名・為蔵。
- 1889年 東京専門学校入学。翌年中退。
- 1892年 『改良若旦那』『当世志士伝』を発表。
- 1895年 『改良若殿』を新聞に掲載。
- 1897年 雑誌『新著月刊』の創刊に参加。
- 1900年 『揚弓場の一時間』を発表、『初すがた』出版。
- 1902年 『はやり唄』出版。
- 1903年 『魔風恋風』を新聞に連載。
- 1948年 芸術院会員となる。
- 1952年 神奈川県で没。86歳。